

宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成26年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化基準	財政再生基準	備考
	平成26年度	平成25年度			
①実質赤字比率	—	—	12.54%	20.0%	一般会計等の実質収支は約14億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.54%	30.0%	全会計の実質収支は、約21億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.7%	8.20%	25.0%	35.0%	【0.5ポイント改善】 特別会計を含む市全体の元利償還金の減が主な要因です。
④将来負担比率	30.9%	64.4%	350.0%		【33.5ポイント改善】 基金等充当可能財源の増が主な要因です。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化基準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を策定し、自主的かつ計画的に財政の健全化に取り組むこととなります。

○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定し、国等の監督の下、確実な財政再建に取り組むこととなります。

宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約14億円の
黒字

(単位:千円)

区分	対象会計		実質収支額		
			平成26年度	平成25年度	増減(H26-H25)
連結実質赤字比率 の対象	①	一般会計等	1,433,834	2,170,049	△ 736,215
	②	国民健康保険事業 特別会計	5,438	3,515	1,923
	③	介護保険特別会計	0	19,953	△ 19,953
	④	後期高齢者医療 特別会計	10,102	374	9,728
	⑤	水道事業会計	647,020	596,173	50,847
	⑥	公共下水道事業 特別会計	0	0	0
	⑦	農漁業集落排水事業 特別会計	0	0	0
	⑧	港湾事業特別会計	31,013	1	31,012
	⑨	土地区画整理事業特別 会計	1,007	0	1,007
計(①~⑨)			2,128,414	2,790,065	△ 661,651
			<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">連結では約21億 円の黒字</p>		
⑩ 標準財政規模			19,016,423	19,207,851	△ 191,428
実質赤字比率(%) : ①/⑩			△ 7.53	△ 11.29	3.8ポイント
連結実質赤字比率(%) : (①~⑨)/⑩			△ 11.19	△ 14.52	3.33ポイント

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は負の値で表示されていますが、黒字であることを意味しています。